



令和7年7月7日(月)

季節の移ろい

ここ数日の暑さは体に伝えますね。夜更けにエアコンが切れると暑さで目が覚めてしまいます。

夏至を過ぎて急に気温が上がリ、今年の梅雨は短かったなあと感じています。二十四節気の小暑は、今年七月七日でした。例年この時期は、梅雨明けと重なることが多く、本格的な夏の暑さが到来する頃です。今年は暑くなるのが少々早いようです。

小暑の頃には、蓮の開花や朝顔が咲き誇るなど、夏ならではの風情が感じられますね。また、集中豪雨にも注意が必要です。

夏ならではの行事が始まる時期でもあり、山開き、海開き、花火大会などですが、それに伴い事故も発生することがあるので、学校で働くものとしては心配な時期でもあります。

更にこの時期は、暑さに体が慣れていないため、体調管理に気を配り、水分補給をしっかり行うことが大切です。

最近時間の速さを痛感しながらも、平和な時間に感謝しつつ、季節の移ろいを感じつつ、自分自身を振り返っています。

5年生宿泊教室

6月12日(木) から6月13日

(金)にかけて、5年生の集団宿泊教室が行われました。行先は熊本県立あしきた青少年の家です。1泊2日という日程で行われましたが、子ども達にとっては多くの学びがあった行事でした。

「水俣に学ぶ肥後っ子教室」では正しく知ることの大切さや、今後自分達に何ができるのか、発信できるのかを考える機会となったようでした。

あしきた青少年の家では、「共感」「交流」「向上」を活動の視点として掲げてあります。この視点に立ち子ども達自身で振り返りをしているようです。この様な行事には、普段の学習では得ることのできない「学び」があります。学習の場であることを意識していた子ども達には、お金では買えない多くの学びがありました。

今後、子ども達は学んだことを振り返り、これからの生活にどのように活かしていくか、また、解決すべき課題について等々の話し合いをしています。そして、学習者として学んだことを後輩達に伝えていってくださることでしょう。

活動の様子(写真)を少しだけ紹介します。



プール掃除〜プール開き

6月26日から水泳学習が始まりました。水泳がある日は子供達も朝から楽しみにしている様子です。

6月17日(火)に、全児童全職員でプール掃除を実施し、その後、26日(木)にプール開きとなりました。

翌日6月27日(金)に北部九州が梅雨明けとなり、水泳学習にはもってこいの気候になりました。学校ではしっかり健康観察を行いながら学習を進めて参りますが、ご家庭でも日頃から体調を整えて頂きます様お願い致します。

水泳学習は早く泳げるようになることも大切ですが、何より長く泳げる(浮かび続ける)ようになることが命を守ることに直結します。荒尾市は海に面していますので、特に大切なことだと思います。特に大切なことだと思います。私は学生時代に2km泳いだことがあります。時間にして1時間10分ほどです。これが目安になるかどうかは別として、健康体力の向上にも水泳は役立ちますので、シーズン中はしっかりと泳ぎ込んで欲しいと思っています。



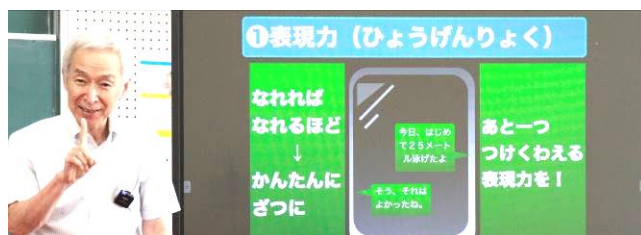
お世話になりました

授業参観・講演会・学級懇談

7月4日(金)の授業参観、PTA講演会、学級懇談に際しまして、保護者の皆様にはお忙しい中、暑い中にお越し頂きまして心より感謝申し上げます。

今回の授業参観は全学級人権学習に取り組みしました。人権学習は、相手の心の痛みに寄り添うことのできる子供達を育んでいくために、学校全体で、また、1年を通して取り組んでいる学習です。どうぞ、ご家庭でも話題にして頂き、子供達の心の成長を図って頂ければと思います。

PTA講演会では、戸田俊文先生のお話から、大人も考えさせられる内容ばかりでした。夏休みを前にSNSの有効活用について改めて考えなければならぬと感じたところです。学校でも子ども達と一緒に考えていきますが、ご家庭でもだんらんの話題としてお話頂ければと思います。



給食の気付き「お茶碗と箸の持ち方」

筆者世代は、小学校に入学する前からお茶碗と箸の持ち方については、かなり厳しく躾けられたのではないかと思います。如何でしょうか。筆者は両親だけでなく、親戚一同からかなりのスパルタで教えられました。おかげで、何となくきちんと使えているかなと思うのですが…。

ある日の給食時間、子ども達のお茶碗とお箸の持ち方に愕然としています。お箸の使い方は、人差し指と中指の使い方が悪いですね。親指、人差し指、中指が連携して始めて、箸の機能が発揮できるのですが、中にはフォークのようにして使う人もいます。また、お茶碗の持ち方ですが、私は人差し指、中指、薬指、小指がお茶碗を支え、親指でお茶碗の縁を固定し、安定させるという持ち方ですが、最近の子ども達の中には、人差し指をお茶碗の縁にかけて、親指、中指、薬指、小指でお茶碗の下を支えるという、アクロバティックな持ち方をする人がいます。

食に関する文化が変わってきていることは感じているところですが、それにしても、少々心配になった場面でした。

